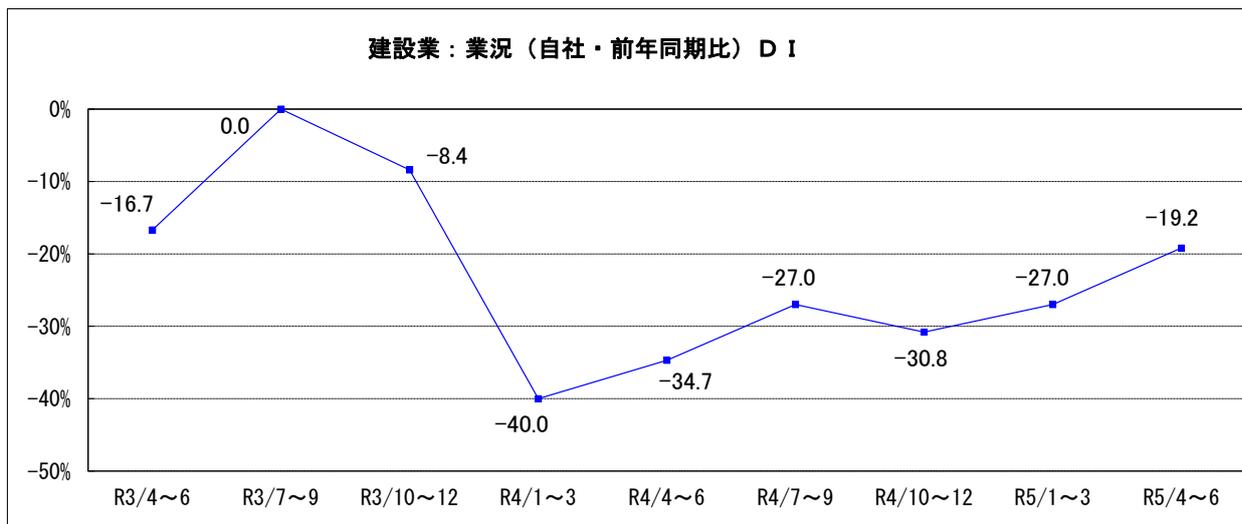


3. 建設業の動向

(1) 業況概要（前年同期比）

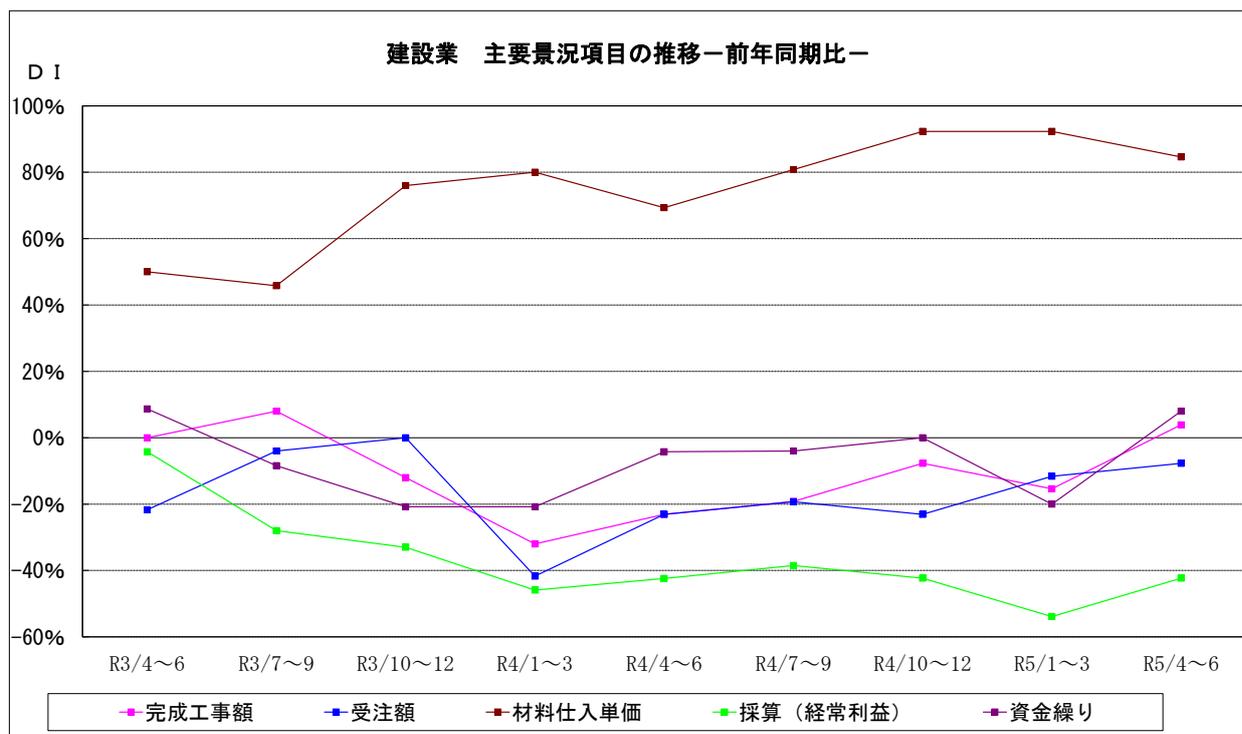
今期の業況DI値は-19.2。前期の-27.0から7.8ポイント上昇した。

来期の見通しは-15.4の予想である。



建設業の主要景況項目DI値の推移（前年同期比・%）

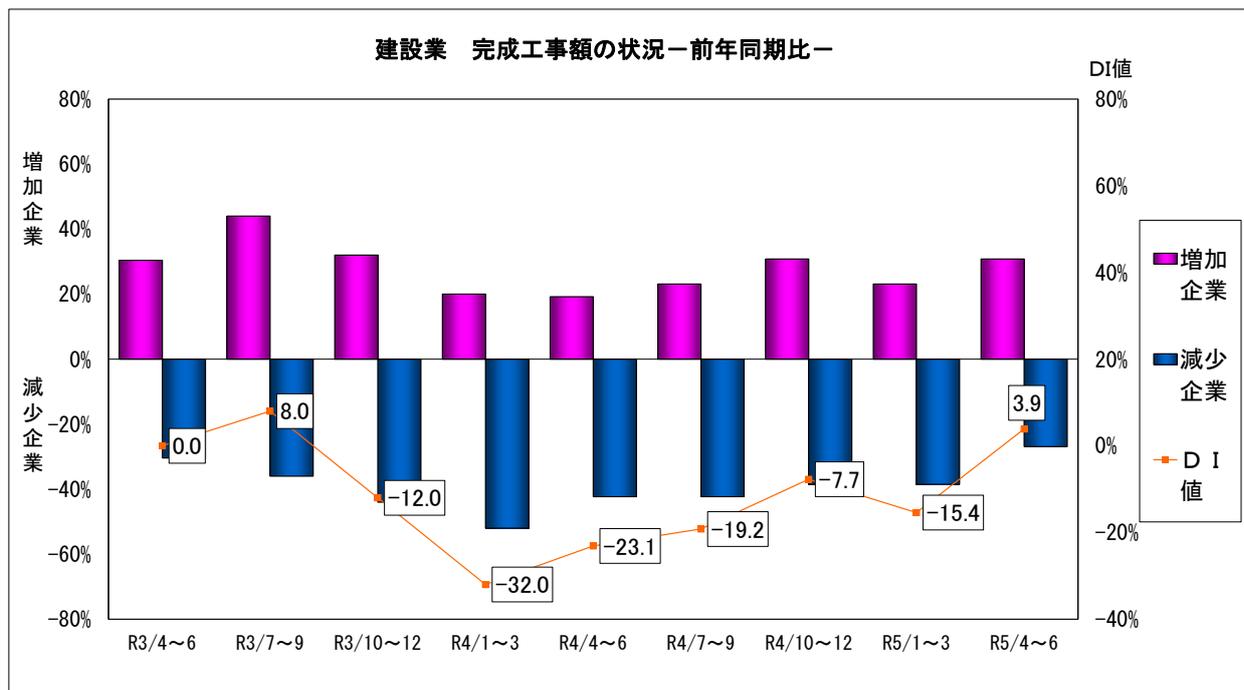
	前々期 (R4年10月~12月)	前期(A) (R5年1月~3月)	今期(B) (R5年4月~6月)	今期と前期の差 (B)-(A)	来期見通し
完成工事額	-7.7	-15.4	3.9	19.3	-7.7
受注額	-23.1	-11.6	-7.7	3.9	-12.0
材料仕入単価	92.3	92.3	84.6	-7.7	69.2
採算（経常利益）	-42.3	-53.9	-42.3	11.6	-24.0
資金繰り	0.0	-20.0	8.0	28.0	-4.0



(2) 主要項目の概況

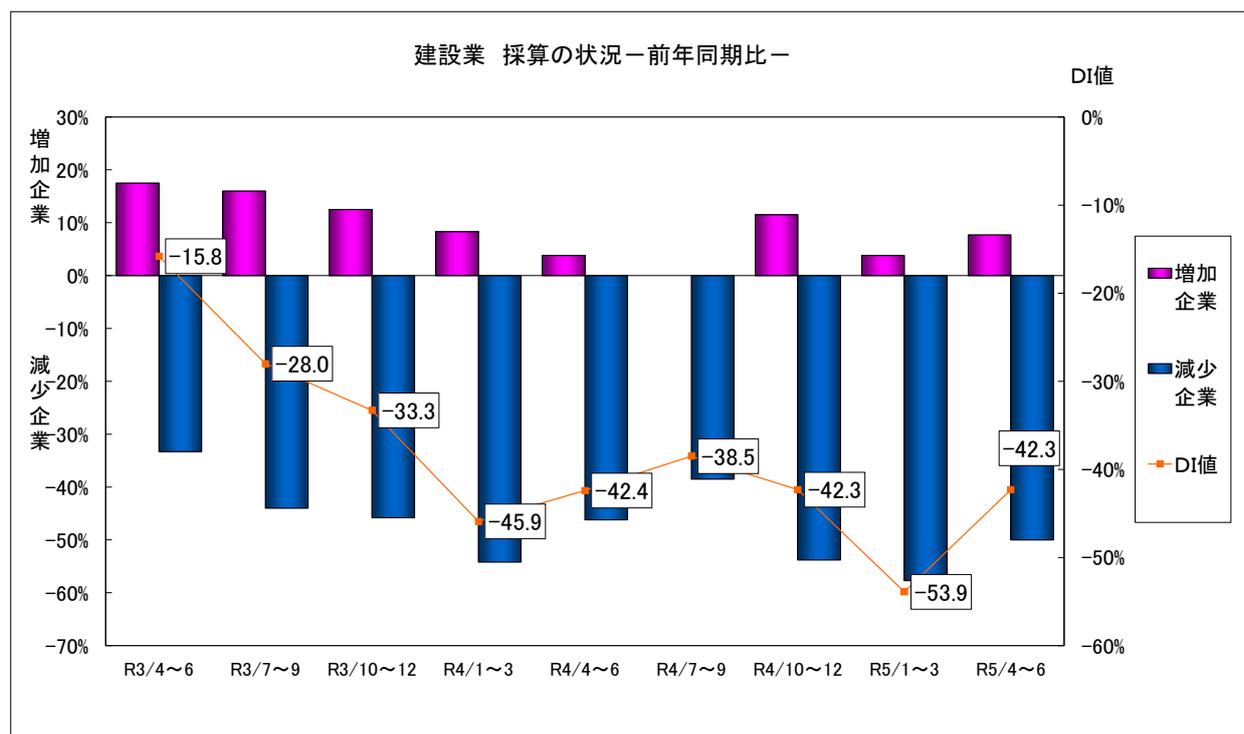
①完成工事額（前年同期比）

今期の完成工事（請負工事）額DI値は3.9。前期-15.4から19.3ポイント上昇した。
来季の見通しは-7.7の予想である。



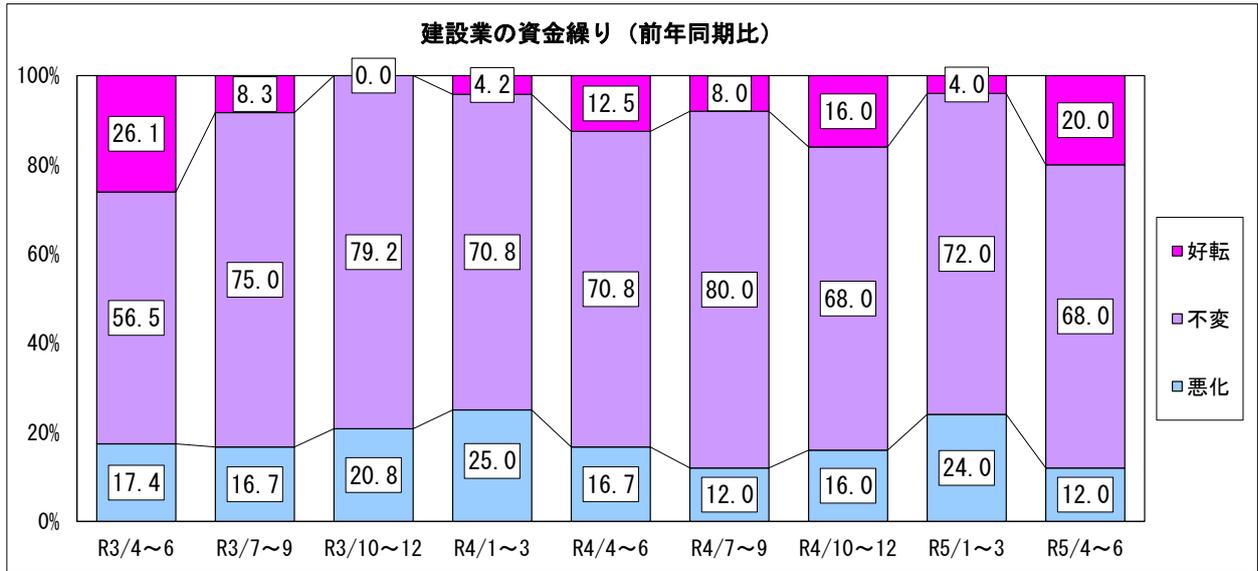
②採算（前年同期比）

今期の採算（経常利益）DI値は-42.3。前期の-53.9から11.6ポイント上昇した。
来季の見通しは-24.0の予想である。



③資金繰り（前年同期比）

今期の資金繰りDI値は8.0。前期の-20.0から28ポイント上昇した。
来季の見通しは-4.0の予想である。

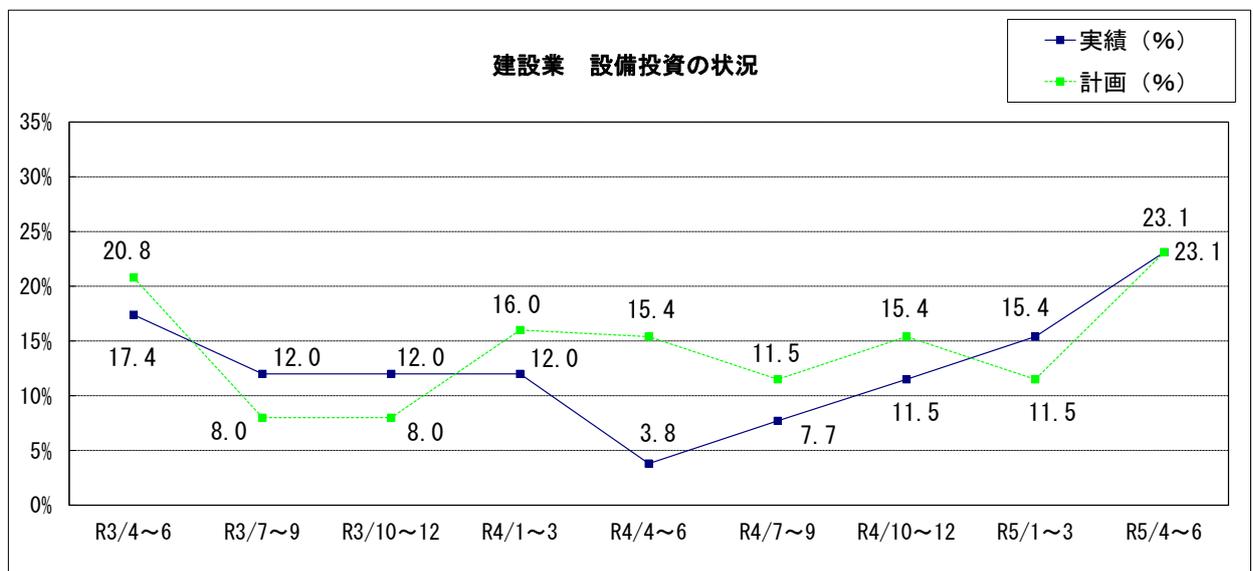


④設備投資

新規設備投資の状況

	あり	投資内容								なし
		土地	建物	建設機械	車両・運搬具	付帯施設	OA機器	福利厚生施設	その他	
前期実施（実数）	4	0	0	1	4	0	0	0	0	22
（%）	15.4	0.0	0.0	25.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	84.6
今期実施（実数）	6	0	0	2	2	0	2	0	0	20
（%）	23.1	0.0	0.0	33.3	33.3	0.0	33.3	0.0	0.0	76.9
来期計画（実数）	6	0	1	1	5	0	0	0	0	20
（%）	23.1	0.0	16.7	16.7	83.3	0.0	0.0	0.0	0.0	76.9

今期設備投資を実施した企業は6社（23.1%）前期（令和5年1月～3月）の実施企業4社（15.4%）
来期は6社（23.1%）が新規設備投資を予定している。



⑤経営上の問題点

今期、建設業が経営上の問題点として一位～三位にあげる項目は

- ・「材料価格の上昇」 (前期62.5%→今期73.9%)
- ・「従業員の確保難」 (前期25.0%→今期30.4%)
- ・「材料費・人件費以外の経費の増加」 (前期16.7%→今期21.7%)
- ・「熟練技術者の確保難」 (前期20.8%→今期21.7%) となっている。

